

近畿管区行政評価局 総務部長

羽室 雅文

国民の皆様と 行政との架け橋

ご存知ですか？

皆様は、各都道府県に所在する管区行政評価局や行政評価事務所をご存知ですか。国の政策や行政運営の改善を求める行政評価局調査を実施したり、国民の皆様からの様々な苦情や要望等の行政相談の窓口となっています。その結果、具体的な改善方策を提案して関係行政機関に見直しを求め、国民にとってより良い行政を実現していく職場です。

また、皆様が総務省に採用されると、将来は、行政評価局調査や行政相談のほか、政策評価の推進、独立行政法人の評価、行政機関の機構・定員の管理、電子政府の推進、情報公開の推進、個人情報保護の確保、行政運営の公平確保や透明性の向上、統計行政の総合的な調整等、多様な選択肢も待っています。

細かなところまで配慮された行政を実現！

行政相談を担当すれば、国民の皆様と直接向き合ってその声を聴き、国民に寄り添い、細かなところまで配慮された行政の実現を図っていくことができます。

相談窓口は、管区行政評価局や行政評価事務所のほか、商業施設、市町村役場、集会場等身近な場所にも開設されており、様々な苦情や要望等を受け付けています。例えば、大学入試センター試験で科目選択を誤った大学受験失格者に検定料を返還する取扱いとなったことや、地目変更登記申請書をインターネットからも入手することが可能となったことが挙げられます。また、東日本大震災や台風被害の発生の中でも、避難先で相談窓口を開設し、被災者の方々に支援しています。

ちなみに、年金保険料の納付記録訂正に関し公正な判断を示すことを任務とする「年金記録確認第三者委員会」も行政相談機能を活用したものです。

国民目線から行政の仕組や運営を改善！

行政評価局調査を担当すれば、国の政策や行政運営について、関係行政機関に対し、行政側の論理ではなく国民目線に立った様々な改善方策を提示し、真に国民の立場に立った行政の仕組や運営の実現を図っていくことができます。管区行政評価局や行政評価事務所では、その最前線で、行政運営の実態を調査し、問題事例を把握し、その原因を追究して改善に向けた方向性を検討する役割を担っています。さらに、調査テーマは4か月ごとに変わるので、常に新鮮な刺激もあります。

ここまでご覧の皆様、我々とともに、声なき声を聴き、その声をより良い行政の実現につなげるため、国民の皆様と行政との架け橋となって働いてみませんか。

PROFILE

昭和53年 4月	行政管理庁採用 中国管区行政監察局
昭和56年 1月	行政管理庁 行政監察局調整課
平成15年10月	総務省行政評価局 総括評価監視調査官
平成17年 7月	総務省 行政評価局調査官
平成20年 2月	総務省 行政評価局総務課 政策評価審議室長
平成22年 4月	総務省行政評価局 行政相談課行政相談 業務室長
平成23年 4月	現職

とある一週間

- 月曜日** 定例の幹部会
年金記録確認第三者委員会付議
案件の説明を受け、必要な指示
- 火曜日** 行政相談委員団体の会長と打合せ
年金記録確認第三者委員会出席
- 水曜日** 台風被災地で開設された特別総合
相談所へ出席。被災地の首長と意
見交換するとともに、被災現場を視察
- 木曜日** 年金記録確認第三者委員会出席
行政相談業務の説明を受け、必要な
指示
- 金曜日** 年金記録確認第三者委員会付議
案件の説明を受け、必要な指示
来年度の体制等について打合せ
- 土・日曜日** 自宅近隣を散策(週末は、健康増進
を兼ねて、自宅近隣のほか、世界遺
産や古都等を散策)



大阪散策(住吉大社)